

2018年3月期第2四半期 決算説明資料

2017年11月9日（木）
株式会社 **力ネ力**

目 次

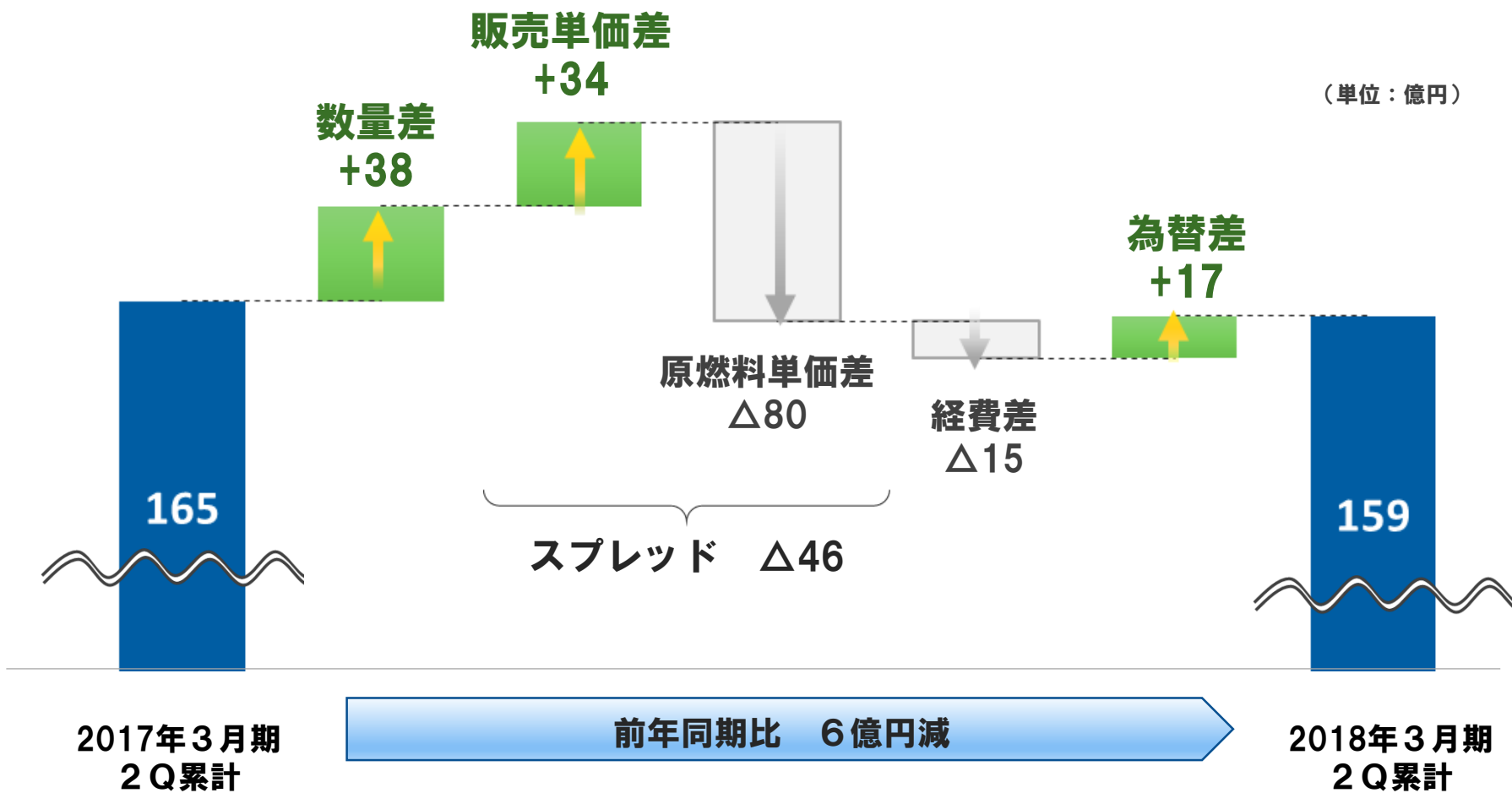
業績概要	1
営業利益増減要因	2
四半期別 売上高・営業利益	3
セグメント別 売上高・営業利益	4
事業概況	5
貸借対照表	9
キャッシュ・フロー計算書	10
業績予想の修正	11
(ご参考)	13

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

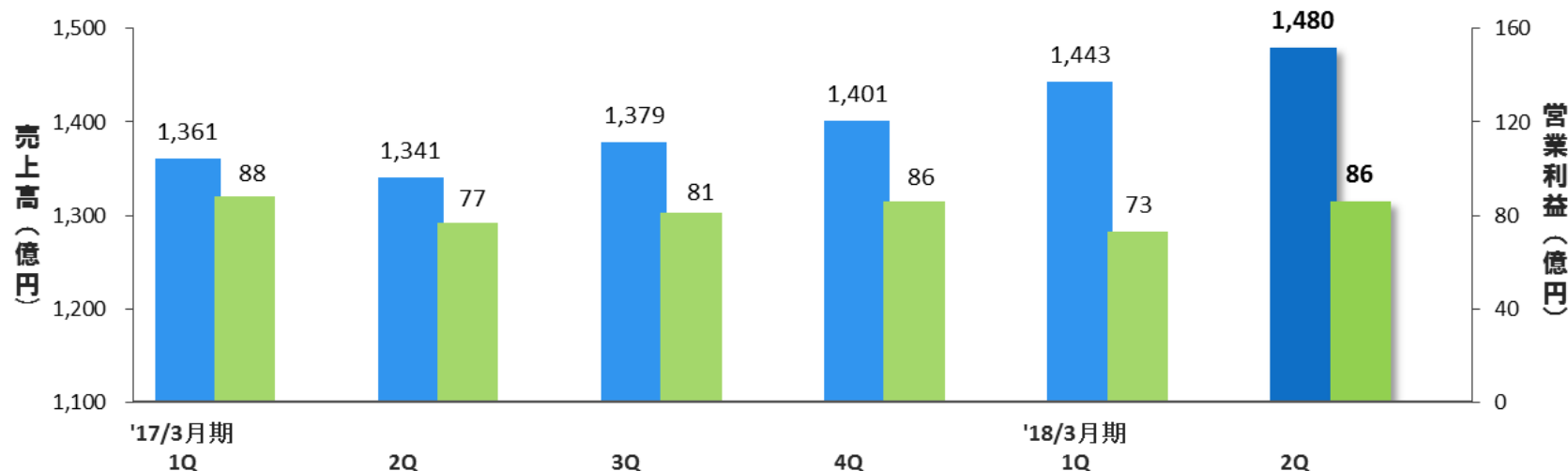
(単位：億円)

	2017年3月期 2Q累計	2018年3月期 2Q累計	増減	
			金額	%
売上高	2,702	2,923	221	8.2%
営業利益	165	159	△6	△3.5%
経常利益	140	145	4	3.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	91	96	5	5.2%
1株当たり四半期純利益	27.56円	29.21円		

- 売上高： 海外市場を中心に拡販が進み、過去最高を更新
- 経常利益・純利益： それぞれ前年実績を上回った
- 営業利益： 2Qは米国ハリケーンの影響を受けるも前年を上回る水準に回復したが、原料高騰による1Qの落ち込みを吸収できず前年割れ



四半期別 売上高・営業利益



(単位：億円)	2017年3月期			2018年3月期			増減		
	1Q	2Q	上半期	1Q	2Q	上半期	1Q	2Q	上半期
売上高	1,361	1,341	2,702	1,443	1,480	2,923	82	139	221
営業利益	88	77	165	73	86	159	△ 15	9	△ 6

- 売上高 : 4四半期連続の増収、1Qに続き過去最高を更新し順調に拡大
- 営業利益 : 1Qは原料価格高騰により減益となったが、2Qは米国ハリケーンの影響を受けながらも前年を上回る水準に回復

セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2017年3月期 2Q累計	2018年3月期 2Q累計	増減		2017年3月期 2Q累計	2018年3月期 2Q累計	増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	99,543	115,472	15,928	16.0%	10,506	12,248	1,741	16.6%
Quality of Life SU	69,083	74,623	5,540	8.0%	8,376	6,853	△1,522	△18.2%
Health Care SU	22,932	21,675	△1,256	△5.5%	5,472	4,228	△1,243	△22.7%
Nutrition SU	78,137	79,857	1,719	2.2%	2,143	2,549	406	19.0%
その他	485	628	143	29.6%	207	339	132	63.7%
調整額	-	-	-	-	△ 10,245	△ 10,340	△94	-
計	270,182	292,258	22,075	8.2%	16,460	15,879	△580	△3.5%

※SU : Solutions Unit

Material	Vinyls and Chlor-Alkaliは海外販売が好調に推移、Performance Polymersは原料価格急変とハリケーンの影響を受けたが旺盛な需要に対して生産体制を強化し販売が拡大
Quality of Life	E & I Technologyは需要好調のなか当社独自製品の採用増により業績が拡大、Foam & Residential TechsとPerformance Fibersは原料価格高騰の影響を大きく受けた
Health Care	PharmaはA P I・バイオロジクスが順調に拡大した一方、低分子医薬品原料は販売が集中した前年に比べ販売数量が減少
Nutrition	Supplemental Nutritionは米国市場を中心に販売数量が増加し、業績が拡大

売上高

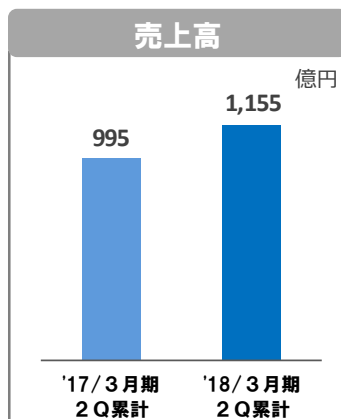
1,155億円 (対前年同期 16.0%増)

売上高構成比

39.5%

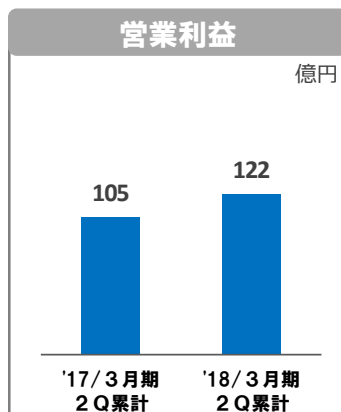
営業利益

122億円 (対前年同期 16.6%増)



Vinyls and Chlor-Alkali

- 一般用塩化ビニル樹脂及びか性ソーダは、アジア向け輸出が好調に推移するとともに、国内向けも堅調な販売
- 塩素化塩ビ及び塩ビペースト樹脂は、海外市場を中心に販売が順調に拡大
- 3Q以降も好調な需要が継続し、更なる業績拡大が見込まれる



Performance Polymers

- モディファイヤーは、1Qにおける主要原料ブタジエン価格の急変による採算悪化に加え、米国で発生したハリケーンの影響を受けたが、グローバルに旺盛な需要が続くなか、マレーシア新設備が本格的に寄与し販売が拡大
- 3Q以降は、これらの一時的な問題が解消され、グローバルに用途拡大が進み、業績の拡大が続く見通し
- 変成シリコンポリマーは、本年7月にマレーシア新設備が稼働し能力不足は解消したが、更なる需要増加に応えるためベルギーでの能力増強を決定

売上高

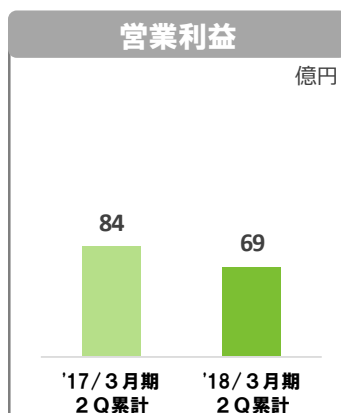
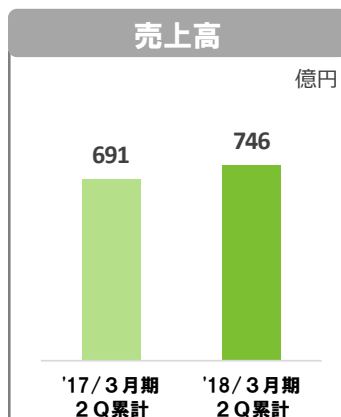
746億円 (対前年同期 8.0%増)

売上高構成比

25.5%

営業利益

69億円 (対前年同期 18.2%減)



E & I Technology

- 超耐熱ポリイミドフィルムは、大手スマートフォンメーカーの新機種大型需要向けの生産体制の強化が貢献し、高機能品（ピクシオ）の販売が順調に拡大
- 今後、スマートフォンなどのデジタルデバイスの小型化・高性能化に伴い、熱対策樹脂としての超耐熱ポリイミドフィルム、超高熱伝導グラファイトシート of 供給不足が懸念される
- ディスプレイ向けなどポリイミド樹脂技術を活用した新製品の大型需要が見込まれることから、供給体制を整えて、更なる収益拡大を図る

Foam & Residential Techs

- 漁獲量の減少や天候不順による建築・土木工事の遅れにより販売数量が伸び悩み、また主要原料価格上昇の影響を大きく受けた
- 今後は、軽量化、省エネルギー、省資源、断熱性など更なる高機能発泡樹脂製品を上市し、自動車や住宅需要の拡大を図り、業績を向上させる

Performance Fibers

- パイル分野の旺盛な需要により販売量は増加したが、収益面では原料高騰の影響を大きく受けた
- 今後は、マレーシア工場の競争力を武器に、需要が本格的に回復する頭髮市場での拡販や新市場の開拓を進める

PV & Energy management

- 高効率瓦一体型太陽電池の大手ハウスメーカー向け販売が順調に拡大
- 太陽電池事業を軸に、住宅のネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）に貢献するエネルギーソリューションの提供に注力

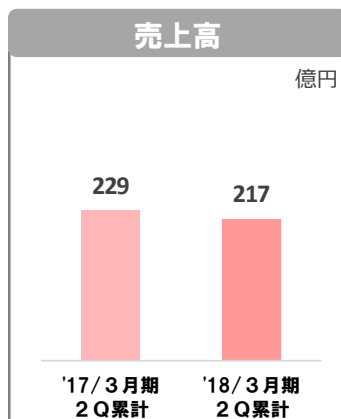
売上高

217億円 (対前年同期 5.5%減)

売上高構成比 7.4%

営業利益

42億円 (対前年同期 22.7%減)

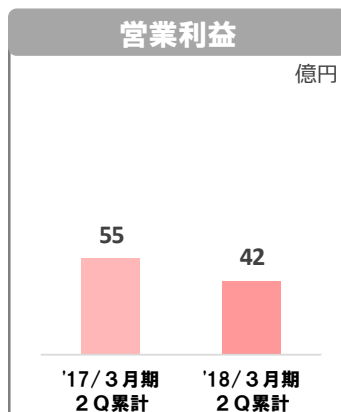


Medical Devices

- ・ 国内・海外市場とも販売が堅調に推移
- ・ インターベンション事業における他社との共同事業展開や血液浄化事業の米国での販売体制強化による事業拡大に取り組んでいる

Pharma

- ・ API及びバイオリクスは順調に拡大しており、国内外で能力増強を進めている
- ・ 一方で、低分子医薬品原料は販売が集中した前年同期に比べ販売数量が減少したが、3Q以降は販売が回復する見込み



売上高

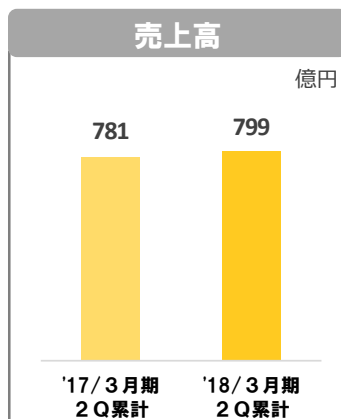
799億円 (対前年同期 2.2%増)

売上高構成比

27.3%

営業利益

25億円 (対前年同期 19.0%増)

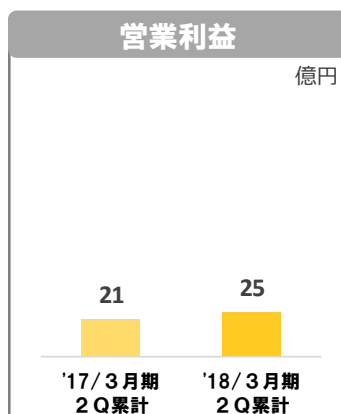


Foods & Agris

- 国内需要が伸び悩むなか新規の食品素材を武器にした大手製パン、コンビニエンスストアや食品メーカーへの積極的な提案型営業を進め販売が拡大

Supplemental Nutrition

- 還元型コエンザイムQ10は米国市場を中心に販売数量が増加し、業績に大きく貢献
- 3Q以降もグローバルに業績拡大が進む見通し



(単位：億円)

	2017年3月末	2017年9月末	増減
資産の部			
流動資産	2,804	2,981	177
固定資産 等	3,125	3,256	131
資産合計	5,929	6,237	308
負債の部			
有利子負債	1,101	1,121	20
その他	1,613	1,753	141
負債合計	2,713	2,874	161
純資産の部			
自己資本	3,051	3,190	139
非支配株主持分 他	164	173	9
純資産合計	3,216	3,363	147
負債、純資産 合計	5,929	6,237	308

- 総資産は、設備投資による有形固定資産の増加や、投資有価証券の増加により増加

(単位：億円)

	2017年3月期 2Q累計	2018年3月期 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	262	216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 203	△ 195
フリー・キャッシュ・フロー	59	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 87	△ 44
現金及び現金同等物の増減額 (含 換算差額、連結の範囲の変更に伴う増減)	△ 40	△ 15
現金及び現金同等物の四半期末残高	392	395

- 営業CFは、売上拡大により運転資金が増加したが、純利益及び減価償却費により216億円の収入
- 投資CFは、積極的な設備投資の継続により195億円の支出

- 上半期は、主力事業の能力増強による販売の拡大や新製品の戦力化が進展し売上高が順調に増加したが、収益面では1Qにおける原料価格問題に加え、ハリケーンによる影響が重荷となった。上半期業績を踏まえ、業績予想を修正する
- 売上高は順調に推移しており、前回予想6,100億円を据え置く
- 利益は、営業利益370億円、経常利益330億円、当期純利益210億円にそれぞれ下方修正する
- 前年対比では、売上高及び各利益とも全て前年実績を上回る見通し

○2018年3月期 通期連結業績予想

(単位：億円)

	前年実績	前回予想 (5/12)	今回予想	増減	
				対前年	対前回予想
売上高	5,482	6,100	6,100	618	—
営業利益	332	430	370	38	△ 60
経常利益	274	390	330	56	△ 60
親会社株主に帰属 する当期純利益	205	230	210	5	△ 20
1株当たり当期純利益	61.72円	69.66円	63.96円		

【2018年3月期第3四半期以降の前提条件】 為替レート：110円/米ドル、130円/ユーロ 国産ナフサ価格：42,000円/KL

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の修正(セグメント別)

- ▶ 前回予想対比では、Material (Vinyls、Performance Polymers)、Quality of Life (E & I)、Nutrition (還元型コエンザイムQ10) が好調な海外販売により上振れる一方、Quality of Life (除くE & I) が原料価格上昇や需要回復遅れ、Health Care (低分子医薬品原料) が出荷時期ズレにより下振れた
- ▶ 前年対比では、Materialの需給バランスの好転と差別化された新製品の拡大、E & Iのスマートフォン市場向け需要の急拡大、還元型コエンザイムQ10の米国市場を中心とした拡販により大幅な増益が見込まれ、前年実績を上回る見通し

(単位：億円)

	売上高					営業利益				
	前年実績	前回予想 (5/12)	今回予想	増減		前年実績	前回予想 (5/12)	今回予想	増減	
				対前年	対前回予想				対前年	対前回予想
Material SU	2,073	2,270	2,420	347	150	223	235	263	40	28
Quality of Life SU	1,368	1,560	1,550	182	△ 10	150	190	157	6	△ 33
Health Care SU	451	500	470	19	△ 30	109	130	95	△ 14	△ 35
Nutrition SU	1,580	1,740	1,650	70	△ 90	53	80	63	10	△ 17
その他	9	30	10	1	△ 20	4	5	5	1	-
調整額	-	-	-	-	-	△ 207	△ 210	△ 212	△ 5	△ 2
計	5,482	6,100	6,100	618	-	332	430	370	38	△ 60

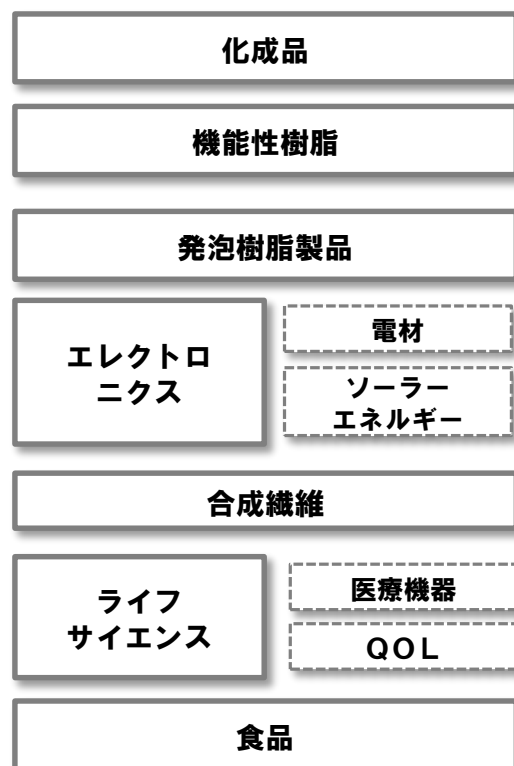
※SU : Solutions Unit

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

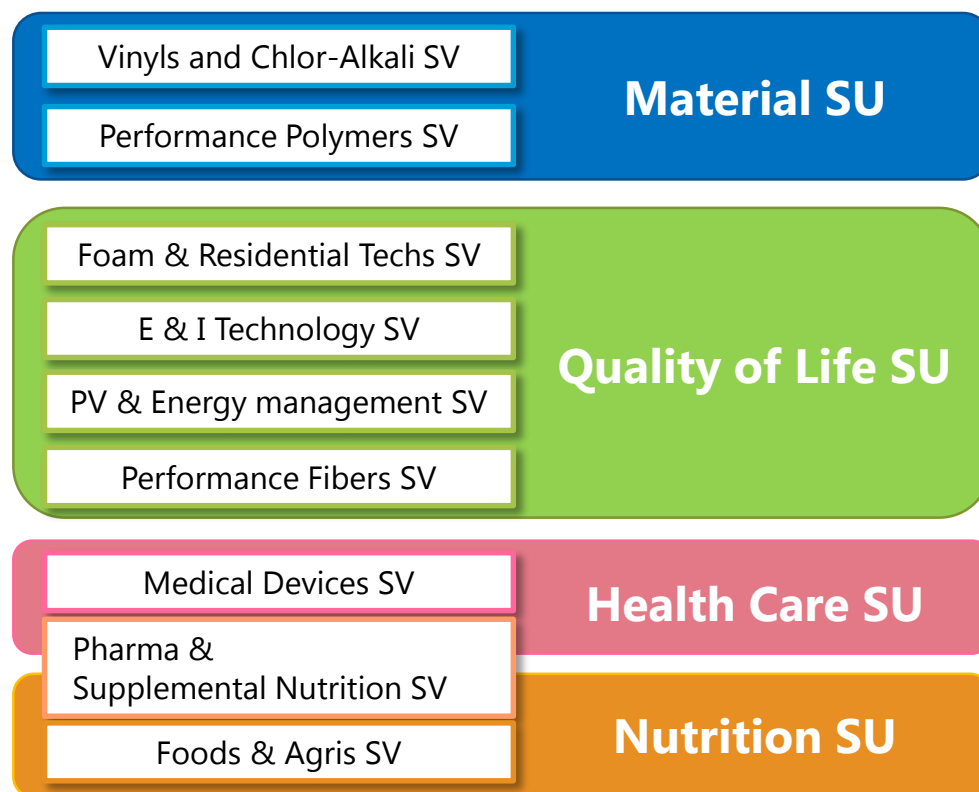
(ご参考) 開示区分の変更について

- 2018年3月期第1四半期より、開示区分を下記のとおり変更しております

旧報告セグメント



新報告セグメント [2018年3月期以降]



※SU・・・ Solutions Unit (セグメント)

※SV・・・ Solutions Vehicle (事業単位)

＜IRに関するお問い合わせ＞

株式会社 **カネカ** IR・広報部

TEL : 03-5574-8090